

だいのほら

夏号
2024

特集
消化器外科

目次

特集：消化器外科	2
「Da Vinci (ダヴィンチ) Xi サージカルシステム によるロボット支援下手術を開始します！」	
膝関節センター開設	4
健康コラム「サルコペニアとリハビリテーション」	5
栄養コラム「夏バテ対策に「腸活」始めませんか？」	5
部署紹介：7階東病棟・手術室	6 / 7
information	8



ご自由にお取りください

特集

消化器外科

Da Vinci (ダヴィンチ) Xi サージカルシステムによるロボット支援下手術を開始します！

内視鏡下手術センター長・内視鏡外科部長 松村 直樹



東北労災病院では、最新のロボット支援下手術システム「Da Vinci (ダヴィンチ) Xi」を導入し、これまで以上に高度で安全な手術を提供いたします。

当院は東北地域はもとより全国でも最も早い時期に腹腔鏡手術を開始した施設の一つであり、徳村弘実名誉院長が 1991 年に胆嚢摘出術、1992 年には大腸癌手術を開始し、多くの疾患に対して腹腔鏡手術を実施してきました。

腹腔鏡手術は傷が小さいなど患者さんにとって多くの利点がある一方で、操作が非常に難しいという側面もあります。しかし、徳村名誉院長のご指導の下、多くの医師たちが高度で適切な修練を受け、これまでに合格率 30%の日本内視鏡外科学会の技術認定医試験に 8 人の外科医が合格しています。これは当院での腹腔鏡手術の精度と教育の成果と自負しております。

2024年6月、当院は intuitive 社の「Da Vinci (ダヴィンチ) Xi サージカルシステム」を導入しました。このシステムは、ロボット支援下手術を行うための最先端の手術用ロボットです。従来の腹腔鏡手術と同様に小さな傷で手術を行うことが可能であり、さらに以下の利点があります。

1. 高解像度の 3D 視野

高解像度の 3D 視野を提供することで、手術に必要な解剖を正確かつ詳細に把握することができます。

2. 高精度の多関節ロボットアーム

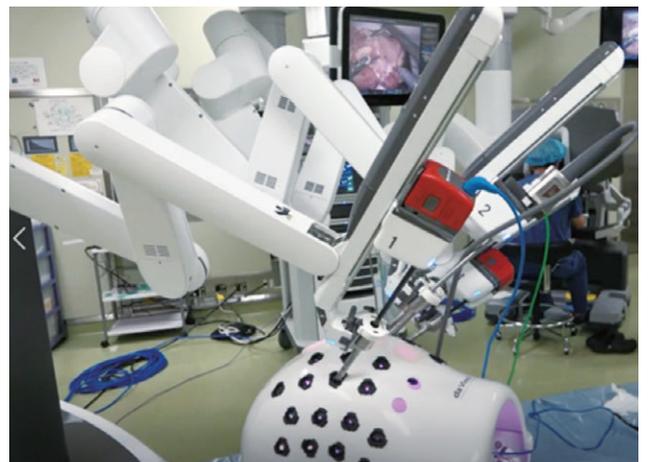
多関節のロボットアームは人間の手のように動き、手振れもなく、開腹手術のような自然な操作が可能です。

ただし、Da Vinci (ダヴィンチ) Xi サージカルシステムは万能ではありません。なぜならロボット支援下手術はロボットの意思で**自動的に手術を行うものではなく、外科医のその手の操作**によって行われる「支援」システムだからです。**システムの能力を最大限に引き出すのは、外科医の技術と経験**にかかっているのです。

だからロボット = 最高 ではないところに東北労災病院の強みがあります！

東北労災病院では、東北労災病院ならではの長年にわたって培ってきた難易度の高い腹腔鏡手術の豊富な経験を活かし、Da Vinci (ダヴィンチ) Xi サージカルシステムの能力を最大限に発揮して手術を行うことにより、これまで以上に患者さんに多くの利益を提供できると確信しております。安全な導入と確実な実施のため、徐々に適応範囲を拡大し、患者さんに最適な治療を提供してまいります。

ご質問やご相談がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。



早期治療・早期社会復帰を
サポート!

膝関節センター開設

膝関節センター長・第二第一関節外科部長 國井 知典

人工関節を中心とした手術治療を効率よく効果的に提供するため、2023年7月開設の「股関節センター」に続き、2024年6月新たに「膝関節センター」を開設しました。

当院では宮城県内のどの病院よりもいち早く人工関節手術支援ロボット「ROSA® (RObotic Surgical Assistant)」を導入しました。「ROSA®」のサポートにより、患者さんへの侵襲が少なく、合併症のリスクも軽減され、より安全な手術を受けることができます。

膝関節の痛みにお困りの方は、お気軽に当センターにご相談ください。

▶豊富な手術実績

当院の整形外科は、東北地区でいち早く人工股関節手術及び人工膝関節手術を導入した実績があります。

中でも人工関節置換術は、2023年度実績で股関節 270件、膝関節 162件の実施件数を有しています(2023年度総人工関節置換術件数: 448件)。

▶高度な設備と技術力でサポート

人工関節置換術は、軟骨の摩耗などによって悪くなった関節部分の骨を取り除いて、金属やポリエチレンなどの人工関節に置き換える治療法で、関節の痛みの原因をすべて取り除くため、手術後は痛みのない日常生活に戻ることが可能となります。

▶膝関節鏡

半月板損傷、靭帯損傷、軟骨損傷、変形性膝関節症などの治療で関節鏡を使用し、生活の質を向上させることを目指しています。小さな切開口から関節鏡を挿入するため、組織の損傷が少なく、手術後の痛みも軽減されます。回復が早く、日常生活への早期復帰が可能です。

▶膝周囲骨切り術

膝関節の変形や痛みを改善するための手術です。特に、変形性膝関節症や膝周囲骨壊死に行います。この手術は、骨を切ることで膝の負担がかかる部分を移動し、病変部の関節にかかる負担を減らすことを目的としています。

手術の具体的な方法としては、膝周囲の骨を一部骨切りし、新たな角度で再固定することで、膝関節にかかる力の分布を変えます。これにより、関節の痛みが軽減され、機能が改善されることが期待されます。膝骨切り術は、人工関節置換術の前段階として行われることが多く、特に若年層や中年層の方やスポーツ、運動を希望している方に適しています。

膝の構造や軟骨の状態に応じてオーダーメイドに術前計画をします。術後のリハビリテーションも重要な要素で、平均的な入院期間は3週間です。



「サルコペニアとリハビリテーション」



サルコペニアとは、加齢による筋肉量の減少・筋力低下を指します。

筋力は 40 歳頃から少しずつ低下し、70 歳を超えた頃から自覚症状を認めるようになります。このように加齢に伴うものを一次性サルコペニアと言います。それに対し活動減少、栄養不足、疾患に伴うものを二次性サルコペニアと言います。

サルコペニアが進むと日常生活動作に影響が生じ、介護が必要になったり、転倒しやすくなったりします。また、各種疾患の重症化や生存期間にも影響するとされ、現在は様々な診療科にまたがって注目されています。

入院中のリハビリテーションは二次性サルコペニアを防ぐ目的もあり、運動器疾患に限らず、呼吸器・循環器・がんなどに対しても実施されます。

①有酸素運動 (ウォーキング・自転車エルゴメーター)

②筋力トレーニング

③ストレッチ



栄養
コラム

「夏バテ対策に「腸活」始めませんか？」

夏の疲れが出やすいこの時期、冷たい食べ物の食べすぎや、温度変化によるストレスで腸の中は乱れがち。腸内環境を整えることで、自律神経の働きや免疫力がUPするといわれています。腸内細菌の一種の悪玉菌の増殖を抑え、善玉菌を増やすには毎日の食事管理が欠かせません。



善玉菌を増やすポイントは2つ

①善玉菌（乳酸菌や納豆菌など）を直接食べて腸に届ける

ヨーグルト、乳酸菌飲料、納豆、漬物

バナナ×ヨーグルト



②善玉菌の「エサ」となる食物繊維やオリゴ糖を摂る

食物繊維：海藻類、キノコ類、野菜、豆類、果物など
オリゴ糖：バナナ、大豆、たまねぎ、ねぎなど

納豆×めかぶ



善玉菌は腸に住み着くことはできないので、毎日の食事に「善玉菌」と「エサ」を取り入れて夏の疲れを乗り切りましょう。

部署のご紹介

7階東病棟



今回は7階東病棟の紹介をさせていただきます。7東病棟は、消化器外科、大腸・肛門外科、消化器内科、歯科、7月からは糖尿病・内分泌・高血圧内科も加わって、多種多様な疾患の患者さんが入院しています。

消化器外科・大腸肛門外科では、胃・大腸癌手術や化学療法、単径ヘルニアや胆石などの腹腔鏡手術を行っています。また、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の手術や人工肛門造設手術も行っており、ストーマケアの指導を皮膚排泄ケア認定看護師と共に実践しています。

糖尿病・内分泌・高血圧内科では、糖尿病の教育入院や、高血圧の検査入院などを行っています。栄養士による食事指導や医師や糖尿病療法士による糖尿病教室を開催し、患者さんが退院後も病気を抱えながらも生活できるようサポートしています。

医師、看護師、皮膚排泄ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士、入退院支援看護師、医療ソーシャルワーカー、看護補助者などの多職種が連携し、チーム一丸となって入院時より患者さんや家族の気持ちに寄り添って退院後の生活を見据えた看護を提供しています。

スタッフ一同、定期的に勉強会を開催し、常に新しい知識や技術を習得しながら患者さんに最善となるようなケアを日々提供したいと頑張っています。



部署のご紹介

手術室



手術室の紹介をさせていただきます。

当院では消化器外科、大腸肛門外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科（脊椎外科、外傷・関節外科、第一・第二関節外科）、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、脳神経外科と多岐に渡る手術を行っています。昨年は手術支援ロボット（ROSA®）が東北初の導入となり、対象症例も増え、年間手術件数は3564件/年（昨年241件増）となりました。人工関節手術は年々増加しており、骨粗鬆症リエゾンサービス（OLS）の提供から、大腿骨骨折をされた方に速やかな手術対応を行い、二次骨折予防にも繋がっています。

そして、当院にもようやくロボット支援手術（ダヴィンチ）が導入され、8月中旬から手術を開始する予定です。最新の器械を駆使し、医師をはじめとした医療チームが一丸となり質の高い手術を提供して参ります。

また今年度から、手術後の疼痛を多職種で管理する術後疼痛管理チームの活動を開始します。術後の疼痛を管理することで、早期離床や術後合併症を減少させることができます。手術を間近にみている私たちが中心となり、医師、薬剤師とともに術後の痛みの緩和方法を患者さんそれぞれの状態に合わせて考えていきます。手術室だけではなくベッドサイドに伺うことで手術室をもっと身近に感じて頂き、患者さんひとり一人の声を治療と看護に活かしていきたいと思っております。

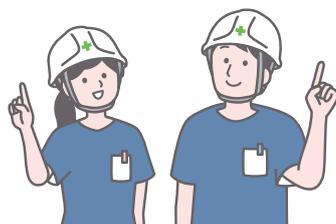


information

災害訓練を行いました

7月17日(水)に災害訓練を実施いたしました。当日は記録的短時間大雨警報が発令している中で、の大地震という想定の下、インフラが整わない中での診療や救急受入対応等を訓練しました。

災害拠点病院として、皆様に安心を提供できるよう、今後も務めてまいります。



交通アクセス

▶バスをご利用の場合

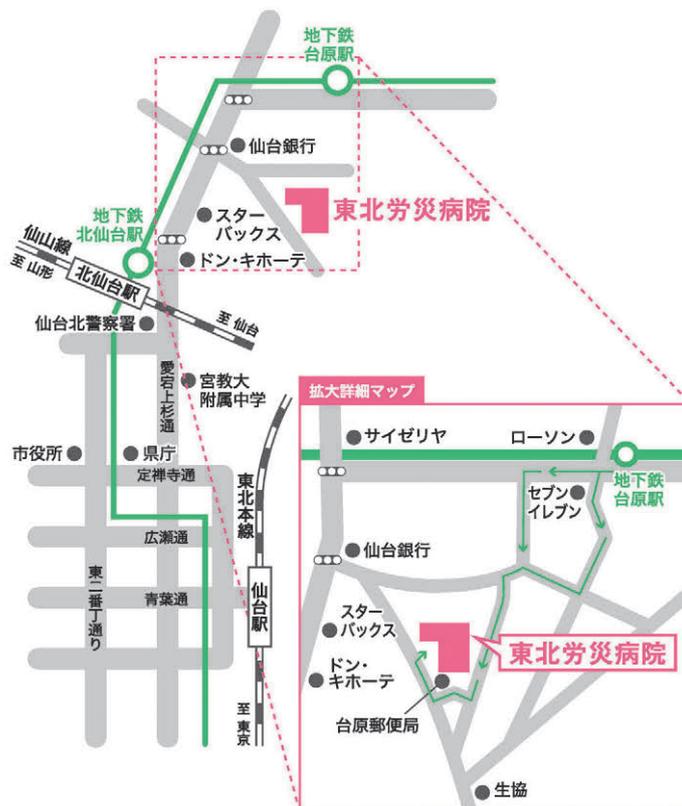
仙台市営バス・宮城交通バス
仙台駅バスプール 2番3番乗り場
宮城大学・宮城学院前方面行、
台原入口下車

▶電車をご利用の場合

JR 仙山線 北仙台駅下車
徒歩 10分

▶地下鉄をご利用の場合

台原駅下車、徒歩 10分



だいのほら

東北労災病院広報誌「だいのほら」
2024年8月発行



独立行政法人労働者健康安全機構

東北労災病院

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3番21号
TEL : 022-275-1111
URL <https://www.tohokuh.johas.go.jp>

